

令和5年度第1回 東松山市総合計画審議会 会議録

開催日時	令和5年5月23日(火)			開会	14時00分	
				閉会	15時50分	
開催場所	東松山市役所 総合会館3階 304会議室					
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 令和5年度3か年実施計画書について (2) 第2期東松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略について 4 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		2人	
審議会委員	委員	飯島 徹	出	委員	玉木 啓一	出
	委員	伊藤 ひと美	欠	委員	中田 幸昌	出
	委員	小沼 弘太	欠	委員	細田 咲江	欠
	委員	小峰 良介	出	委員	杉山 武志	欠
	委員	鹿田 明	欠	委員	酒巻 裕太	欠
	委員	島田 政信	欠	委員	佐藤 幸俊	出
	委員	嶋本 正雄	出	委員	関根 美沙	出
	委員	須田 知樹	出			
事務局	政策財政部長 桶谷 易司			政策財政部次長 町田 憲昭		
	政策推進課長 今井 秀典			政策推進課活性化戦略室長 新村 久徳		
	政策推進課主査 堀越 和行			政策推進課主査 江原 友博		
	政策推進課主事 小池 亮			政策推進課主事 嶋岡 佑香		

次 第	顛 末
1 開会	(事務局開会宣言)
2 あいさつ	(嶋本会長あいさつ) (森田市長あいさつ)
<b>3 議題</b> <b>(1) 令和5年度</b> <b>3か年実施計画書</b> <b>について</b>  玉木委員  関根次長  須田委員  江原主査  須田委員  江原主査	≪令和5年度3か年実施計画書について事務局から説明≫ <b>【資料】「令和5年度3か年実施計画書(案)」</b>  <b>【質疑応答・意見】</b> (P33) 施策④指標：高度医療機器稼働率について、単に高ければよいというものではないのではないのでしょうか。また、稼働率が100%を超えるとはどういうことか教えてください。  CTとMRIの利用率を指標としており、利用率が高いほど患者様により高度な医療を提供できていることを示しています。 稼働率については、診療時間内の稼働に対するものを100%としており、コロナにより緊急的な措置として時間外対応も増えたことから100%を超える稼働率となっています。  (P7) 効率性の評価項目②③④について、すでに高い効率性のもと施策をおこなっているためこれ以上改善はできないというものが1点、改善の余地があるものが0点ということによろしいでしょうか。  効率性については、評価項目①についてコストに見合った成果が得られていないのであれば成果を高めていく必要があり、②③④については、見直すことが「できる」を選択した場合、他者のノウハウや実施手段の見直しにより効率性を高めることが可能であることから低い評価となり、施策を構成する事業の見直しにつなげます。  効率性が低いにも関わらず、今後の方向性が「拡大・充実」となっている施策は、効率性を高めていくことよりも予算をかけて事業の拡充を図っていく方が重要という判断でよろしいでしょうか。  「拡大・充実」の捉え方につきましては、施策を構成する事務事業

	<p>について、新たな取組の追加や、これまでの取組を拡充して施策を強化する場合に選択するよう庁内に周知しております。</p> <p>効率性の改善よりも事業の拡充を優先するというのではなく、日常の事務事業を執行していく中で効率性を高めていくことを意図したものです。</p>
<p>関根委員</p>	<p>(P 29) 施策①主な取組：医療と介護の専門職の情報共有を円滑化するための関係づくりについて、円滑化を図るためにどのような取組をおこなっているのでしょうか。</p>
<p>高荷次長</p>	<p>比企地区在宅医療・介護連携推進協議会という、医師や看護師、ケアマネージャーといった多職種による協議会を設けており、その中で医療・介護の課題抽出や専門家の意見聴取、課題への対応検討など、研修や会議などの機会を捉え、情報共有・連携強化を図っております。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>評価項目の「効率性」について、0点となっている施策もあり、捉え方に疑問を感じました。「達成度」は指標の達成状況により4段階で評価されており、評価する人も見る人もわかりやすい形になっています。「効率性」についても同様の評価方法を検討されるとより理解しやすくなるのではないのでしょうか。</p>
<p>江原主査</p>	<p>3か年実施計画書は市役所内部だけで見るものではなく、市民の皆様にも見ていただき、結果を正しく知っていただくことが一番重要であると考えております。ご指摘いただいた点を踏まえ、見せ方や評価の仕方について引き続き研究いたします。</p>
<p>須田委員</p>	<p>現状、4つの項目により総合評価を判定していますが、妥当性・有効性が低くなることは考えにくいため、効率性・達成度だけでマトリクスを作ってもよいと考えます。例えば、達成度は指標の達成度合い、効率性は達成度に対する予算の執行割合により判定すれば、客観的で誰もが納得する評価になるのではないのでしょうか。</p>
<p>江原主査</p>	<p>ご指摘いただいた点は「最少の経費で最大の効果を生む」という行政の本質の部分ですので、参考にさせていただき、評価方法について引き続き検討してまいります。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>(P 80) 施策④指標：市に愛着を感じる市民の割合について、市</p>

三村次長	<p>民が感じる「東松山市の良さ」を収集・発信することが、指標を向上させることに直接的に関わってくることだと考えますが、どのような取組を実施していくのかお聞かせください。</p> <p>小中学生に市の観光施設への理解を深めてもらうため、出前講座を積極的に取り組んでいきたいと考えております。くらかけ清流の郷や農林公園等の整備に伴い市外から多くのお客様が見えておりますので、SNSや広報等を通じた情報発信を継続的に行い、観光事業に市民の方にも参加していただけるような取組を進めてまいります。</p>
細野次長	<p><b>【島田委員の意見書に対する回答①】</b></p> <p>毎年空き家の所有者に対してパンフレットを配布し、空き家バンクや解体についての助成制度の案内など、適正な管理のための啓発を図っております。</p>
町田次長	<p><b>【島田委員の意見書に対する回答②】</b></p> <p>水道管から多量の水が漏水している場合、圧力の低下や水の濁り等が発生します。市内9か所に設置されている監視装置にて異常を感知し、周辺パトロール、漏水箇所の特定・修理をおこなっております。</p> <p>また、重要給水施設に至る75mm径以上の水道管については、耐震管への計画的な敷設替えを進めています。その結果、75mm径以上の水道管の漏水の修理件数は2件となっており、漏水対策として効果があるものと考えております。今後も耐震管への敷設替えを進め、漏水対策につなげてまいります。</p>
中田委員	<p>短時間集中豪雨の際など、雨水処理が間に合わず道路が浸水していることがあります。計画へ位置付けるなどして、雨水処理能力についても、現状の把握と対応策について検討をお願いします。</p>
町田次長	<p>東部区画整理区域（新宿小周辺）に雨水ポンプが設置されておりますが、その手前の松山市民活動センター周辺で雨水を集め、雨水管から市野川へ排水し、区画整理区域内に雨水が入らないよう対策を進めております。工事完了後には、対策の成果について検証し、公表いたします。</p>
須田委員	<p>PC等の活用により効果が上がりそうな指標がいくつかございま</p>

	<p>すので、意見として述べさせていただきます。(P 8 7) 施策①指標：花とウォーキングのまちの平和賞応募数について件数が伸び悩んでいるようですが、最近の中高生はコンピューター上でイラストを描きインターネットに掲載しています。手書きの絵画だけではなく、コンピューター上で描いたイラストも応募して良いこととし、ネット上から直接応募できるようにすれば、敷居が下がり応募数の増加が見込めるのではないのでしょうか。</p> <p>(P 8 7) 施策②指標：戦没者追悼・平和祈念式典参加者数について開校期間中におこなっているのであれば、例えばY o u T u b eでライブ配信し、タブレットを用いて生徒たちは教室から参加すれば会場に行く必要もなく、自宅からでも参加できるため、参加者数が増加するのではないのでしょうか。</p> <p>また、(P 9 1) 施策①指標：ウォーキング事業参加者数について、民間企業が開発している健康アプリ等とスリーデーマーチ期間中に提携すれば、実際に東松山市に来られない人でも地元から参加することができるほか、歩数に応じて景品を用意するなどすれば、ウォーキング事業への参加者数が増えるのではないのでしょうか。</p>
加藤次長	<p>1 点目のご意見につきまして、現在手書きの絵画の募集のみにとどまっておりますので、担当課へ情報共有いたします。</p> <p>戦没者の追悼式に関しましては、遺族会が中心となり開催しておりますので、いただいたご意見について共有し、検討させていただきます。</p>
田島次長	<p>市では、毎日1万歩運動という、登録いただいた方が県の健康マイレージと連携して歩数をカウントし、歩数に応じて景品をお渡しする取組をおこなっております。スリーデーマーチに関しては、I Tを使った効率化が必要になると考えております。いただいたご意見を参考にしながら検討させていただきます。</p>
<p>(2) 第2期東松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p>	<p>《第2期東松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略について事務局から説明》</p> <p>【資料】「第2期東松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標・K P I 達成状況について」</p> <p>【質疑応答・意見】</p>
中田委員	<p>基本目標2のK P I「市内事業所数」と「従業者数」について、基</p>

<p>新村室長</p>	<p>準値と目標値が同じ数値になっていますが、従業者数の令和4年度実績値はすでに目標値を超えています。目標値の設定について見解をお聞かせください。</p> <p>また、施策2-1：都市計画法に基づく手続きについて、新たな用地確保を進めていくとあり、実際に会社を東松山市に移転させたいというニーズは多いように感じます。新たな産業用地を確保できれば、事業所数・雇用数ともに増えると思いますが、市内にはそこまで土地が残っていないのではないのでしょうか。</p> <p>ご指摘のKPIにつきましては、設定した際に「維持」を目標としたため、基準値と目標値が同じ数値となっています。しかし、市内事業所数については、全国的に中小企業等が減っている状況であり、本市も例に漏れず減少したものと考えております。市内従業者数については、企業誘致等の成果もあり人数が増えておりますが、目標値については「維持」を目指すこととして考えております。</p> <p>企業誘致につきましては、第五次総合計画において産業の拠点としている区域への誘致に取り組んでおりますが、市民の方が所有している土地であり、それぞれ権利条件等が異なるため、状況が整うまでに時間を要するケースがございます。新郷地区など、まだ開発用地が残っている場所もありますので、開発事業者のニーズと合致したところから誘致を進めてまいります。</p>
<p>飯島委員</p>	<p>目標値と実績値がかけ離れているものがいくつか見受けられますが、正しく事業の進捗が測れなくなるおそれがあるため、いずれかの時点で補正をした方がよいのではないのでしょうか。</p>
<p>新村室長</p>	<p>ご指摘のとおり、実績値がかけ離れている指標がございますが、コロナ禍等の影響により、正確に把握しきれていない面もございます。今後の状況を見ながら、検討してまいります。</p>
<p>中田委員</p>	<p>基本目標1：魅力を高め、新たな人の流れをつくるについて、農林公園には、5万6000人も人が訪れているようですが、その後市内に滞在する人は少ないのではないのでしょうか。近隣も含めて市内観光施設を周遊できるような仕組みができれば、新たな人の流れを創出できるのではないのでしょうか。</p>
<p>三村次長</p>	<p>市内の観光施設はその場だけを利用して帰宅されるという事例が多くあるということは認識しており、他の施設のパンフレットを設</p>

<p>小峰委員</p> <p>高荷次長</p> <p>小澤次長</p> <p>4 閉会</p>	<p>置するなど、市内に滞在していただく取組をおこなっております。新たな取組として、スタンプラリーといったイベントや周知活動を実施し、周遊性の向上に向けた取組を進めてまいります。</p> <p>基本目標5：住み慣れた地域で健やかに暮らせるまちをつくるについて、KPIの「高齢者サロンの数」が基準値83か所に対して令和4年度実績が82か所と1減になっていますが、コロナの影響でしょうか。コロナが収束に向かっている中で、目標値の88か所に向けて、どうすればサロン数を増やせるのか、また魅力あるサロンづくりについて、見解をお聞かせください。</p> <p>令和5年度については増加が見込まれておりますが、運営側の成り手不足が課題となっており、活動を休止しているサロンもあります。支援策について、引き続き検討してまいります。</p> <p><b>【酒巻委員の意見書に対する回答】</b></p> <p>地域の防災活動の充実やその強化を図るために自主防災組織リーダー養成研修を実施しており、昨年度は、基礎編と応用編の2部構成としました。基礎編は、主に座学研修とし78名の参加がございました。応用編は、各活動センターを中心とした各地区の防災訓練において、避難所の開設訓練や資機材の設営訓練を実施しました。5地区（唐子・高坂・高坂丘陵・野本・平野）合計で343名の方にご参加いただきました。基礎編と応用編合わせて421名の参加があったことから、実績値が大幅に増加したものでございます。</p> <p>(桶谷政策財政部長より御礼のあいさつ)</p> <p>(事務局閉会宣言)</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和5年6月9日</p> <p>署名委員      <u>          中田 幸昌          </u></p> <p>署名委員      <u>          佐藤 幸俊          </u></p>	